

2026（令和8）年9月2日

報道機関各位

（公財）アイヌ民族文化財団

シルバーウィーク特別イベント開催 ウポポイ ふえす 2026、いま － アイヌ・沖縄・奄美がつながる －

公益財団法人アイヌ民族文化財団（札幌市中央区、常本照樹理事長）が運営するウポポイ（民族共生象徴空間）は、2026年9月19日（土）から23日（水・祝）までの5日間にわたり、シルバーウィーク特別イベント「ウポポイ ふえす 2026、いま －アイヌ・沖縄・奄美がつながる－」を開催します。メインイベントとして、9月20日（日）および21日（月・祝）の2日間、アイヌ、沖縄、奄美のアーティストをゲストに迎え、多彩なパフォーマンスをお届けします。

本イベントは、「音楽・芸能・工芸・食」を通じて、アイヌ文化と沖縄・奄美の文化が交流する特別企画です。それぞれの地で育まれてきた文化が「いま」ウポポイで出会い、未来へとつながる新たな交流を生み出すことを目指し、日本列島の豊かな多様性を形づくる文化の魅力をあわせて体感できる、ウポポイならではの多彩なプログラムを展開します。

▼開催概要とイベントの特徴

タイトル ウポポイ ふえす 2026、いま －アイヌ・沖縄・奄美がつながる－

開催日 令和8年9月19日（土）～23日（水・祝）

ポイント①：UPOPOY MUSIC FESTIVAL 開催

9月20日（日）および21日（月・祝）の2日間は、ウポポイ園内駐車場に特設ステージを設け、初の野外音楽フェスティバルを開催します。Marewrew and Oki、nincup、元ちとせさん、夏川りみさんをメインステージのゲストに迎え、特別なステージをお届けします。

ポイント②：アイヌ料理・沖縄グルメを堪能

9月22日（火・祝）および23日（水・祝）は、それぞれの土地に根差した食を特設のキッチンカーで販売します。ポネオハウ（豚骨と野菜のスープ）やタコライスなど、北と南の食文化をお楽しみいただけます。

※ 無くなり次第終了。内容は変更となる場合があります。

ポイント③：工芸品展示・伝統芸能の披露

5日間を通して、「アットウシ（樹皮衣）」や伝統織物「芭蕉布」の展示をはじめ、トンコリ・三線などの弦楽器体験、アイヌ・沖縄の伝統芸能など、多彩なプログラムを日替わりで開催します。※下線部は下付き小文字

※ プログラムの詳細は別添チラシおよび特設ウェブサイトをご参照ください。

▼取材申込み

ウェブサイト「取材申込み」からお申し込みください。

<https://ainu-upopoy.go.jp/inquiry/press/>



（特設ウェブサイト）

【ウポポイ】日本の貴重な文化でありながら存立の危機にあるアイヌ文化の復興と創造等の拠点として2020年北海道白老町にオープン。正式名称は民族共生象徴空間。愛称「ウポポイ」は「（おおぜいで）歌うこと」を意味する。公益財団法人アイヌ民族文化財団が運営。ウポポイ公式ウェブサイト：<https://ainu-upopoy.go.jp>

【お問合せ先】

（公財）アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 誘客広報課 松橋

E-mail submit@ainu-upopoy.jp TEL 0144-84-7318 FAX 0144-82-3685